



昭和レトロな雰囲気が漂う「亀吉の湯」

昭和レトロな銭湯 “亀吉の湯”登場 湯本、古滝屋にオープン



近年、十～二十代の若者を中心、「昭和レトロ」がブームとなつてきている。当時のデザインや暮らしなどを再評価する文化のことで、新鮮さや懐かしさを取り入れた「商品開発」「商売」も熱を帶びている。

こうした中、常磐湯本町の老舗旅館「古滝屋」は八月八日、館内八階に「昭和レトロな銭湯」

最も目を引くのは、二×三メートルほどの大型壁画。温泉街の伝説にちなんだ「ツル」「亀吉」や「ズリ山」などが明るい色彩で描かれている。国内外で活躍するアーティスト・河野無以さん（三三）が手掛けた。

このうち内湯は、ケロリンの風呂桶（おけ）や昔ながらの玉石タイルなどが使われ、どこか懐かしい空間が広がる。

最も目を引くのは、二×三メートルほどの大型壁画。温泉街の伝説にちなんだ「ツル」「亀吉」や「ズリ山」などが明るい色彩で描かれている。国内外で活躍するアーティスト・河野無以さん（三三）が手掛けた。

三千三百円（税込み）。一泊二食付きプランを予約の場合は、詳しく述べは、同館（電話四三一三二九二）まで。

年齢や障がいの有無にかかわらず温泉を楽しんでもらおうと、創業三百三十周年の記念事業で開設。一組最大六人で、四十五分間の利用。料金は無料で使用できる。時間は午後三時から午前一時まで。

詳しく述べは、同館（電話四三一三二九二）まで。